



奥の細道むすびの地 周辺整備





文化の薫り高い

大垣の個性を生かしたまちづくり



本市の中心市街地では、俳聖・松尾芭蕉が「奥の細道」の紀行を終えたむすびの地や美濃路など、多くの歴史的・文化的資源を有するとともに、大垣城の外堀であった水門川や重要な水運の拠点として隆盛を誇った船町川湊跡など、水の恩恵による「水の文化」が育まれてきました。

こうした中、JR大垣駅を中心とする地域では、近年のモータリゼーションの進展、郊外型大規模小売店舗の立地などにより、商業核としての魅力が薄れつつあり、これまでの長い歴史の中で文化や伝統を育んできた「まちの顔」である中心市街地の拠点性が低下しています。

このため、平成20年の市制90周年を契機として、中心市街地の活性化に向け、文化の薫り高い大垣の個性を生かし、中心市街地の回遊性の誘発と市内外からの来訪者の増加を目指し、歴史と文化が息づく船町・美濃路界隈であるとともに奥の細道むすびの地周辺に、「憩いと賑わいの空間」を整備してまいります。

大垣市長 小川 敏

大垣市奥の細道むすびの地記念館



大垣市奥の細道むすびの地記念館

芭蕉館

A AVシアター

40名程度の収容が可能。200インチのスクリーンによる迫力ある3D映像で「奥の細道」の概略を紹介します。

B 常設展示室

紀行文学である「奥の細道」を旅路ごとに区切り、関連する資料と映像で紹介するとともに、俳聖・松尾芭蕉の人物像や旅に生きた人生を紹介します。

C 企画展示室

芭蕉関係と先賢関係の企画展示(期間限定)を行います。

D 収蔵庫 / E 資料室

常設展示室及び企画展示室における展示品等を保存(保管)します。

先賢館

F 常設展示室

郷土大垣の歴史や文化・芸術を築き上げた先賢の偉業を紹介します。

観光・交流館

G 情報・図書コーナー

芭蕉関係や先賢関係の情報や図書を提供します。

H ホール

全国の芭蕉関連施設の情報、館内催事及び市内のイベント情報、船町及び中心市街地の地域情報を提供します。

I インフォメーションコーナー

大垣市や西美濃地域が有する地域資源を生かし、地域全体を一つのミュージアムとしていくための地域情報を提供します。

J 物産コーナー、業務用スペース(商業スペース)

事業者に物品販売などの業務スペースを提供します。

K 多目的室

さまざまな講座や研修会の開催が可能な多目的スペースを提供します。

L お休み処、ラウンジ

奥の細道むすびの地への来訪者に休憩スペースを提供します。

M エントランス

「芭蕉館」、「先賢館」、「観光・交流館」の共通の出入口。

N 無何有荘大醒樹

大垣藩藩老・小原鉄心の別荘であった「無何有荘大醒樹」を復元し、大垣市指定文化財を広く市民にPRするとともに、憩いの場を提供します。

O イベント広場

多くの市民が集い憩える公園として、さまざまな交流イベントにも使用できるスペースを提供します。

P 駐車場(第1駐車場・第2駐車場)

来訪者の自動車や観光バスが駐車できるスペースを提供します。

施設の規模

フロア	施設名	面積(m ²)
芭蕉館	1F A AVシアター	89.35
	1F B 常設展示室	236.97
	1F C 企画展示室 ※先賢館との共用	56.33
	1F D 収蔵庫・前室 ※先賢館との共用	81.40 (収蔵庫:58.41m ²) (前室:22.99m ²)
	2F E 資料室 ※先賢館との共用	94.09
先賢館	1F F 常設展示室	115
	1F G 情報・図書コーナー	15.25
	1F H ホール	105.81
	1F I インフォメーションコーナー	98.55
	1F J 物産コーナー	53.02
	1F K 業務用スペース(商業スペース)	105.81
	2F K 多目的室1 (北側:84.64m ²) (南側:55.12m ²) (準備室:19.17m ²)	158.93
	2F K 多目的室2	64.99
	1F L お休み処	131.56
	2F L ラウンジ	25.45

合計 2,329.21m²(共用スペースを含む)
(1F:1,711.20m² 2F:613.89m² RF:4.12m²)

無何有荘大醒樹	床面積:21.59m ² (敷地面積:163.51m ²)
イベント広場	敷地面積:1,330.40m ² (実測:1,337.97m ²)
駐車場	第1駐車場敷地面積: 1,718.47m ² (実測:1,738.75m ²)
	第2駐車場敷地面積: 1,072.20m ² (実測:1,072.20m ²)



整備内容

1 大垣市奥の細道むすびの地記念館の整備

「芭蕉館」、「先賢館」、「観光・交流館」の3館からなる「大垣市奥の細道むすびの地記念館」の整備と大垣藩藩老・小原鉄心の別荘であった「無何有荘大醒樹」の復元を実施します。

2 イベント広場の整備

自己表現や生きがいを実現できるかがやきライフ活動の拠点として、多くの市民が交流するさまざまなイベントにも使用できる公園を整備します。

3 駐車場の整備(第1駐車場・第2駐車場)

自家用車や観光バスでの来訪者のための駐車場を整備します。

4 周辺道路の遊歩道化

施設整備地と水門川沿いを一体化したエリアとするため、イベント時には、周辺道路を遊歩道化します。

5 川湊の風情の修景化

水門川右岸の護岸修景を実施します。

6 リバーサイドの修景化

船町公園の修景を実施します。

7 川舟の運航

水門川における川舟の運航を実施します。

8 周辺地域の修景化

心が和む雰囲気を醸し出すため、川湊の町屋を偲ばせる修景を実施します。



整備目標

(1) 中心市街地の活性化

近年のモータリゼーションの進展、郊外型大規模小売店舗の立地などにより、大垣市の文化や伝統を育んできた「まちの顔」である中心市街地の拠点性が低下しています。シンボリックな拠点の一つとして整備を進め、回遊性のある新たな賑わいを創出し、中心市街地の活性化を図ります。

(2) ふるさと・大垣への誇りと愛着の醸成

大垣市では、これまで歴史・文化の保存・顕彰に取り組んできましたが、数多く存在する歴史的・文化的資源の価値が市民に十分に理解されていません。大垣市の歴史・文化や先賢を顕彰することで、ふるさと・大垣への誇りと愛着を醸成します。

(3) 観光・交流産業の促進

大垣市では、これまで奥の細道むすびの地や大垣城を中心として観光・交流産業の促進に取り組んできましたが、観光・交流資源が点在しているため、集客力を弱めています。西美濃地域をはじめとする広域的視点に立って、中核的拠点を整備し、観光・交流を促進します。

整備コンセプト

大垣の歴史と文化が息づく憩いと賑わいの空間の創出

～郷土の歴史・文化・風土・先賢の学習空間と観光・交流のゲートウェイとして～

奥の細道むすびの地周辺を「歴史と文化の場」及び「観光・交流産業促進の場」として、次の3つの方針で整備を進めます。

(1) 船町地区全体の整備の核づくり

船町地区は、美濃路や中山道などの街道の陸運と水門川や揖斐川水系の水運の結節点である船町湊を中心に発展し、江戸時代から交通の要衝として、産業・情報の集積化により、大垣宿の西の玄関口として機能してきました。そうしたことを日常の生活文化に生かしながら、一層の交流促進による賑わいを創出するため、美濃路周辺の修景整備など、船町地区全体の再生に向けた拠点として、奥の細道むすびの地周辺を整備します。

(2) 中心市街地への市民及び来訪者の回遊性を誘発する拠点づくり

大垣市の中心市街地には、奥の細道むすびの地はもとより、大垣城、美濃路、大手いこ井の泉などの文化・交流資源のほか、大垣市及び西美濃地域の「商業の顔」である中心商店街があります。奥の細道むすびの地周辺は、かつて、美濃路で言えば西の玄関口、水運で言えば南の玄関口でもあり、中心市街地の回遊性を誘発する拠点として、奥の細道むすびの地周辺を整備します。

(3) 西美濃全域フィールドミュージアム化のゲートウェイ機能の整備

船町地区は、大垣市の中心市街地だけでなく、大垣市内全域から西美濃地域全体にいたるまでのゲートウェイとしての役割を果たす立地条件が備わっている場所の一つです。西美濃地域をはじめとする広域での歴史・文化、観光・交流産業促進の拠点として、奥の細道むすびの地周辺を整備します。

対象区域

対象区域は、大垣市の歴史と文化が息づく船町・美濃路界限で、俳聖・松尾芭蕉が「奥の細道」の紀行を終えたむすびの地である水門川沿いの土地及びその周辺地域です。なお、中・長期的には、大垣市総合福祉会館までを整備区域とし、さらなる整備推進を検討します。

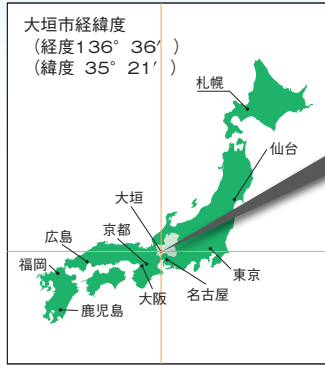
(参考)

区分	面積
A	3,894.31m ² (実測3,905.71m ²)
B	1,718.47m ² (実測1,738.75m ²)
C	1,072.20m ² (実測1,072.20m ²)
合計	6,684.98m ² (実測6,716.66m ²)

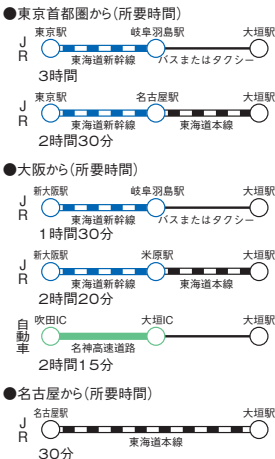


大垣周遊マップ

■大垣市の位置



■交通アクセス



<p>始 矢立初の句碑-干住 (東京都足立区・荒川区) 「奥の細道」旅立ちの句。干住で親しい人々に見送られた折に詠み、「矢立の初め」(旅の句の書き初め)と記されています。</p>	<p>1 日光 (栃木県日光市)</p>	<p>2 遊行柳 (栃木県那須町)</p>	<p>3 須賀川 (福島県須賀川市)</p>	<p>4 笠島 (宮城県名取市)</p>
<p>10 出羽三山 (山形県鶴岡市)</p>	<p>9 本合海 (山形県新庄市)</p>	<p>8 立石寺 (山形県山形市)</p>	<p>7 尾花沢 (山形県尾花沢市)</p>	<p>6 封人の家 (山形県最上町)</p>
<p>11 酒田 (山形県酒田市)</p>	<p>12 越後 (新潟県出雲崎町)</p>	<p>13 市振 (新潟県糸魚川市)</p>	<p>14 那古 (富山県射水市)</p>	<p>15 金沢 (石川県金沢市)</p>
<p>終 始塚・大垣 (岐阜県大垣市) 「奥の細道」の旅を無事終え、この句を大垣で詠みました。干住で詠んだ出発の句「行春や…」と呼応しています。長旅の疲れを大垣でいやし、芭蕉は伊勢に向かいます。旅の終点は新たな出発の地でもあります。</p>	<p>20 色の浜 (福井県敦賀市)</p>	<p>19 敦賀 (福井県敦賀市)</p>	<p>18 加賀全昌寺 (石川県加賀市)</p>	<p>16 小松 (石川県小松市)</p>